

MEDICAL NEWS

第37号
平成21年2月1日発行

ホームページアドレス <http://www.kikkoman.co.jp/hospital/>

一般の方々の健康に対する意識の高まりとともに、ここ数年メタボリックシンドロームの認知度も確実に高まっています。そこでは従来の生活習慣病（糖尿病、高血圧、脂質代謝異常など）の上流にある内臓脂肪蓄積がより重要視されています。肝臓に中性脂肪が蓄積した状態である脂肪肝も内臓脂肪の一つの表れで、メタボリックシンドロームに高頻度に合併します。全国の人間ドックの集計でも脂肪肝は約30%に認められ、20年前の3倍近くにまで増加しています。肥満度が高いほど脂肪肝になりやすい一方で全脂肪肝患者の半数以上が非肥満者である点にも注意が必要です。自分は絶対大丈夫という過信は禁物です。

メタボリックシンドロームと脂肪肝

キッコーマン総合病院 消化器内科部長 秋本 政秀

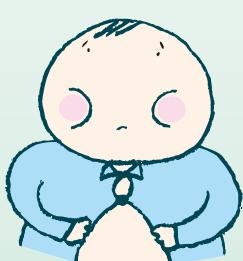
脂肪肝の問題点

脂肪肝はアルコール性と非アルコール性の2つに大別されます。

まずアルコール性について御説明しましょう。アルコールの過飲によって最初に肝臓に生じる変化が脂肪肝ですが、食生活の欧米化や運動不足などの相乗作用で重度の脂肪肝に進行しやすいのが現状です。少なくともこの時点で節酒や断酒を心掛けなければなりません。さらに大量飲酒を繰り返すと約20%にアルコール性肝炎を発症してしまいますからです。その一部は高率に死に至る重症型の病態を呈します。比較的穏やかに経過した場合でも、長期の大量飲酒で肝臓の線維化（硬くなること）が進み、その多くは肝硬変に進行します。肝不全や肝細胞癌を発症する

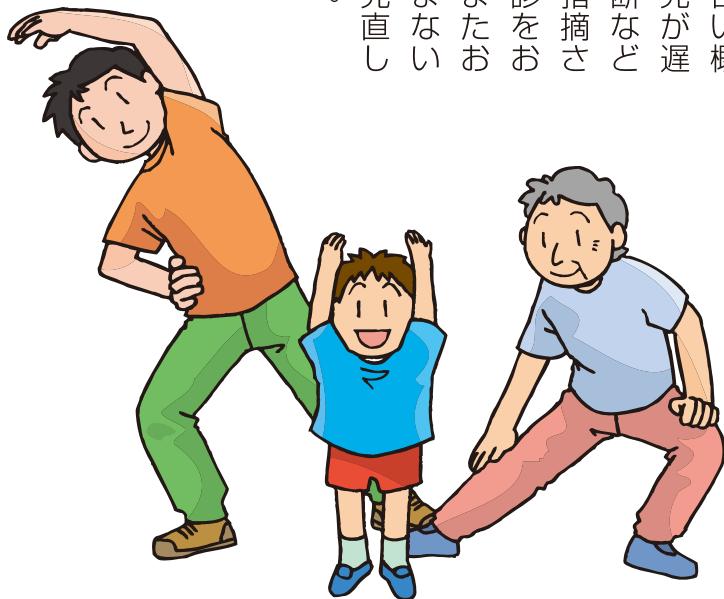
われることですが、どんなに好きでもお酒はほどほどにしなければいけないとということです。

それでは非アルコール性の場合はどうでしょうか？以前は、非アルコール性の脂肪肝は肥満、糖尿病、脂質代謝異常など直接に関係はするものの、自覚症状に乏しく原因を改善すれば治癒しやすいとされ、あまり問題視されていませんでした。しかし最近ではメタボリックシンドロームの肝病変とも言われ注目を集めています。その約90%は肝臓に關して言えば病的意義に乏しい単純脂肪肝ですが、それ以外の約10%は非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）と呼ばれる病態であることが近年の研究から明らかにされています。NASHは肝細胞への脂肪沈着をきっかけに酸化ストレスなどの複数



の因子が加わって引き起こされる疾患ですが、放置すればその30～50%の症例で線維化が進行し肝硬変へ移行するとも言われています。NASH薬物治療はまだ検討過程にあり、現時点では合併するメタボリックシンдромの治療が基本となります。早期に診断し治療を開始することが重要です。

アルコール性以外の脂肪肝は進行しないという誤った古い概念に囚われると病気の発見が遅れてしまいます。健康診断などで肝機能障害や脂肪肝を指摘されている場合、一度は受診をお勧めしたいところです。またお酒を飲む方はもちろん飲まない方も生活習慣をもう一度見直してみてはいかがでしょうか。



院長コラム

新たなスタートに向けて(2009年の総合病院改革)

キッコーマン総合病院 院長 久保田 芳郎

新しい年、丑年の2009年を迎えました。本年はキッコーマン総合病院の改革の年、新たなスタートに向けて船出する年です。

本年度は病院の診療体制を大きく変える方針です。整形外科におきましては筑波大学落合直之教授のご指導のもとに昨年「手の外科センター」を開設しましたが、1月から医師を増員し、常勤三名体制にするとともに、スポーツ外来（毎週火曜日）を新設し、さらに脊椎、関節疾患と理学療法士、作業療法士によるリハビリテーション体制を充実させる方針です。耳鼻科、眼科におきましても夕方しか来られない患者さん、とくにお子様方に来院しやすくするように夕方外来を週1日ではありますが始めます。

昨年は産科医師退職による産科診療の撤退、循環器医師の補充不足、救急への対応不足など、キッコーマン総合病院を信頼して来てくださる多くの患者さんに多大な迷惑をおかけしており、誠に申し訳なく思っております。しかし産婦人科も東京医科歯科大学、獨協医科大学越谷病院のご指導のもとに、林雅敏教授をはじめとして3人の先生方に外来診療を担当していただいており、なるべく近い将来に（2010年）常勤医師を派遣していただき、産科診療を復活させたいと考えております。

「新」という文字は“木+辛（鋭くとがった刃物）”にさらに“斧”が加わって作られています。その意味するところは鋭い刃物で木を切ると白い木肌がのぞく、それにさらに切る意味を“斤”で強化した文字です。すなわち生木を裂くような机身にこたえるような生々しさを表現しています。「新」は手の加わらない、手あかに染まらない、新調のような真新しい状態をいうではありません。待っていれば「新」が来ると思うのは間違いです。木を切り、切り刻み、道を切り開かなければ「新」は巡ってきません。新時代、新局面、そして新病院、すべて「新」は血がにじむような努力と覚悟を必要としています。

本格的な高齢社会を前にして今、日本の医療は激動の時を迎えています。当院では将来へのビジョンとストラテジーを明確にして新しい病院の体制造りを行うとともに、医療レベルの向上、予約診療の充実、待ち時間の短縮、アメニティーの向上などにお一層努力すべく、現在各診療部長、所属長と面談し、より良い診療体制を検討しております。皆様には何かとご迷惑をおかけいたしておりますが、何とか立て直して患者さまに信頼される、将来を見据えたキッコーマン総合病院を新たに築きあげたいと考えております。本年もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

常勤外来担当医師紹介



院長(外科)
くはた よしろう
久保田 芳郎

専門分野 消化器外科、大腸肛門外科

東京大学1974年卒業
(医局:東京大学第一外科)

医学博士、東京理科大学薬学部客員教授、日本大腸肛門病学会評議員・専門医、日本消化器病学会関東支部会評議員、日本外科学会認定医、日本消化器外科学会指導医・専門医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会評議員



副院長・診療部長
みかみ しげる
三上 繁

専門分野 消化器内科、肝胆脾内科

千葉大学1986年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、東京理科大学薬学部客員教授、日本胆道学会評議員、日本消化器病学会関東支部会評議員、日本内科学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本肝臓学会専門医、日本超音波医学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本消化管学会胃腸科認定医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本医師会認定産業医、日本感染症学会認定ICD(感染制御医師)、日本人間ドック学会認定医



小児科部長
あくた なおこ
芥 直子

専門分野 小児科一般
小児血液腫瘍学
小児リウマチ学

愛媛大学1985年卒業
(医局:東京大学小児科)

医学博士、日本小児科学会専門医、日本補完代替医療学会認定学識医、日本補完代替医療学会常任委員



整形外科部長
たなか としかず
田中 利和

専門分野 整形外科一般、上肢機能外科

旭川医科大学1985年卒業
(医局:筑波大学整形外科)

医学博士、日本整形外科学会認定医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本体育協会認定スポーツ医



外科部長
かわぐち よねい
川口 米栄

専門分野 消化器外科、内視鏡外科、乳腺外科

東京大学1987年卒業
(医局:東京大学第一外科)

日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医、マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定医



消化器内科部長
あきもと まさひで
秋本 政秀

専門分野 消化器内科、肝胆脾内科

千葉大学1990年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、日本消化器病学会専門医、日本内科学会認定医



耳鼻咽喉科部長
いいお みつひろ
飯尾 光博

専門分野 耳鼻咽喉科

北海道大学1994年卒業

日本耳鼻咽喉科学会認定医



眼科部長
おばざわ みのる
尾羽澤 実

専門分野 緑内障

東海大学1994年卒業
(医局:慶應義塾大学眼科)

医学博士、日本眼科学会専門医



眼科医長
はなぞの げん
花園 元

専門分野 眼科

慶應義塾大学2000年卒業
(医局:慶應義塾大学眼科)

日本眼科学会専門医、日本抗加齢医学会専門医



内科医長
しみず しろう
清水 史郎

専門分野 消化器内科

富山医科薬科大学1995年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、日本医師会認定産業医



内科
いまむら たかあき
今村 隆明

千葉大学1996年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士、日本内科学会認定内科専門医、米国内科学会正会員、米国消化器病学会正会員、日本消化器病学会専門医



生活習慣病内科医長
ささき のぶかず
佐々木 信和

専門分野 高血压、糖尿病、内分泌代謝

島根医科大学1997年卒業
(医局:東京大学腎臓内分泌内科)

日本医師会認定産業医、日本内科学会認定医、日本抗加齢医学会専門医、日本補完代替医療学会常任委員、日本補完代替医療学会認定学識医、全日本病院会保健指導士



整形外科
おがわ たけし
小川 健

筑波大学1998年卒業
(医局:筑波大学)

日本整形外科学会専門医・日本体育協会認定スポーツ医、スポーツ外来診察担当



外科
かわさき ひろし
川崎 普司

東京大学2001年卒業
(医局:東京大学第一外科)

日本外科学会認定医



整形外科
すがや ひさし
菅谷 久

筑波大学2004年卒業
(医局:筑波大学)



外科
やじま しょう
谷島 翔

東京大学2006年卒業
(医局:東京大学第一外科)



診療担当表

●全科で予約診療を実施しています。電話での予約受付時間は平日の午前10時より午後4時まで。

専用電話番号

04-7123-5932(代)

※休診等で変更になる場合がございます。ご了承ください。

受診の際は診察券を御忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ち下さい。

●外来・受付時間 午前8時～11時、午後1時～午後3時

平成21年1月16日現在

診 察 科		診療案内	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	消化器	三上/今村	清 水	秋 本	清 水	三上/今村	秋 本
		生活習慣病	佐々木	麻 生	佐々木	塚 越	若 林	佐々木
		呼吸器		川 田		植 山		
		腎 臓						太 田
		循 環 器		宮 田		上 原		
	午後	リウマチ			坪井(3月迄)			
		消化器			今 村		清 水	
		生活習慣病		佐々木(予約)				
		呼吸器		川田(予約)		植山(予約)		
		リウマチ			リウマチ医師(4月)			
外 科	午前	総合・消化器	久 保 田	川 崎	川口(米)	川口(米)	久 保 田	川口(米)
			川 崎	谷 島			川 崎	谷 島
産 婦 人 科	午前	総 合		飯 塚	山 本	林		
	午後	総 合		飯 塚	山 本	林		
小 児 科	午前	総 合	芥	芥	芥	康	芥	芥
	午後	総 合	芥	元気な子	芥	赤木/阿波	芥	元気な子
整 形 外 科	午前	総 合	落合/田中	田中/菅谷	交代診察	菅 谷	田中/小川	田中/小川
		総 合	小 川	(小 川)	常勤医師交代	大学医師	菅 谷	菅 谷
	午後			スポーツ		手の外科		
耳 鼻 咽 喉 科	午前	総 合	飯 尾	慈恵医大医師	飯 尾	飯 尾	飯 尾	慈恵医大医師
	午後	総 合		慈恵医大医師		夕方診療	飯 尾	慈恵医大医師
眼 科	午前	総 合	尾羽澤/花園	花 園	尾羽澤/花園	慶應大学医師	尾 羽 澤	交代診察 (常勤医師)
	午後	総 合	検 查	検 查	夕方診療	慶應大学医師	検 查	
皮 膚 科	午後	総 合			医科歯科大 医 師		医科歯科大 医 師	
泌 尿 器 科	午後	総 合			根 岸	根 岸	大 村	
脳 神 経 外 科	午後	総 合						東大医師

循環器・消化器病検査担当表

平成21年2月1日現在

検査名		月	火	水	木	金	土
胃 内 視 鏡	午前	川口／川崎	三上／今村	清水／今村	川崎／谷島	秋 本	三 上
腹 部 超 音 波	午前	秋本／清水	秋 本		三上／今村		清水／今村
乳腺・甲状腺超音波	午前			川崎／谷島		川口／谷島	
頸動脈超音波(15:00~)	午後		三上/秋本/清水		三上/秋本/清水		
胃・大腸X線検査	午前			清水／今村	川崎／谷島	清 水	
大 腸 内 視 鏡	午後	三上/秋本/清水/鈴木	久保田/川崎/谷島	秋本／清水	川口/川崎/谷島	三上/秋本/今村	
心 臓 超 音 波	午後		宮 田				

新人紹介



よろしくお願いいたします。



看護部
小薬 美奈子



放射線科
逆井 芽衣



整形外科
小川 健

専門外来(予約)・特別診療のお知らせ

(詳しくは各外来にお尋ね下さい。)

平成21年2月1日現在

● 整形外科	特 別 診 療 (毎週月曜日午前) 担当: 筑波大学整形外科 落合 直之教授 手の外科外来 (木曜日午後) スポーツ外来 (火曜日午後) 装 具 外 来 (木・土曜日午前)
● 小児科	元気な子外来 (火曜日午後・土曜日午後) 循 環 器 (第2土曜日午前) 神 経 (第3土曜日午前) 内 分 泌 (第3土曜日午後) 腎 臓 (不定期金曜日午後)

*元気な子外来では乳幼児健診・慢性疾患の経過観察・育児教育相談・うつらない病気等の診察を行います。

おもな 非常勤外来 担当医師 紹介

整形外科 (月曜日午前) 落合 直之 <small>専門分野 上肢機能外科 東京大学1973年卒業 (医局:筑波大学整形外科)</small> <small>医学博士、筑波大学整形外科教授、日本整形外科学会認定医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本整形外科学会評議員、日本手の外科学会評議員、日本臨床スポーツ医学会評議員、日本肘関節研究会理事</small>	産婦人科 (木曜日午前・午後) 林 雅敏 <small>専門分野 産婦人科 東京医科歯科大学1975年卒業 (医局:東京医科歯科大学)</small> <small>医学博士、獨協医科大学越谷病院産婦人科教授、日本妊娠高血圧学会理事、日本女性心身医学会理事、日本母性衛生学会幹事、評議員、日本更年期医学会評議員、日本胎盤学会評議員、日本産婦人科・新生児血液学学会評議員、悪性腫瘍化学療法研究機構(JGOG)会員、日本産科婦人科学会専門医</small>	生活習慣病 (火曜日午前) 麻生 好正 <small>専門分野 糖尿病、内分泌代謝 群馬大学1987年卒業 (医局:獨協医科大学内分泌代謝・血液・神経内科)</small> <small>医学博士、獨協医科大学内科教授、日本糖尿病学会指導医・専門医、日本内分泌学会評議員・専門医、日本内科学会専門医、日本糖尿病学会評議員</small>
---	---	---

 <p>生活習慣病 (木曜日午前) 塚越 乃亜 <small>専門分野 糖尿病、内分泌代謝 獨協医科大学2000年卒業 (医局:獨協医科大学 内分泌・血液・神経内科)</small></p>	 <p>内科 (土曜日午前) 太田 義章 <small>専門分野 腎臓内科 千葉大学1978年卒業 (医局:筑波大学腎臓内科)</small> <small>医学博士、日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医</small></p>	 <p>泌尿器科 (水・木曜日午後) 根岸 壮治 <small>専門分野 泌尿器科一般 東京医科歯科大学1960年卒業</small> <small>医学博士、日本泌尿器科学会専門医 (元春日都市立病院長)</small></p>
 <p>小児科 (木曜日午前) 康 勝好 <small>専門分野 小児血液腫瘍学 東京大学1992年卒業 (医局:東京大学小児科)</small></p>	 <p>小児科 (第1・2・3・5木曜日午後) 赤木 美智男 <small>専門分野 小児循環器病学 東京大学1979年卒業 (医局:杏林大学小児科)</small> <small>医学博士、杏林大学医学教育学教授、日本小児科学会小児科専門医、前杏林大学小児科教授</small></p>	 <p>小児科 (第4木曜日午後) 阿波 彰一 <small>専門分野 小児循環器病学、 システム生理学 東京大学1961年卒業</small> <small>医学博士、日本小児科学会小児科専門医、前杏林大学小児科教授</small></p>
 <p>生活習慣病 (金曜日午前) 若林 貞男 <small>専門分野 生活習慣病 獨協医科大学1997年卒業 (医局:獨協医科大学)</small></p>	 <p>リウマチ・膠原病 (水曜日午前) 坪井 洋人 <small>専門分野 リウマチ・膠原病 筑波大学2001年卒業 (医局:筑波大学)</small></p>	 <p>耳鼻咽喉科 (火曜日午前・午後) 力武 正浩 <small>専門分野 耳鼻咽喉科 東京慈恵会医科大学2000年卒業 (医局:東京慈恵会医科大学)</small></p>
 <p>内科 (木曜日午前) 上原 良樹 <small>専門分野 循環器内科 東京慈恵会医科大学1991年卒業 (医局:慈恵医大循環器内科)</small> <small>医学博士、日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医</small></p>	 <p>内科 (木曜日午前) 植山 太郎 <small>専門分野 呼吸器内科 千葉大学2000年卒業 (医局:千葉大学呼吸器科)</small></p>	 <p>婦人科 (水曜日午前・午後) 山本 篤 <small>専門分野 婦人科 東京医科歯科大学2005年卒業 (医局:東京医科歯科大学)</small></p>
 <p>内科 (火曜日午前・午後) 川田 奈緒子 <small>専門分野 呼吸器疾患 千葉大学2000年卒業 (医局:千葉大学呼吸器科)</small></p>	 <p>循環器内科 (火曜日午前) 宮田 秀一 <small>専門分野 循環器内科 東京慈恵会医科大学1999年卒業 (医局:慈恵医大循環器内科)</small></p>	 <p>婦人科 (火曜日午前・午後) 飯塚 真 <small>専門分野 婦人科 獨協医科大学2004年卒業 (医局:東京医科歯科大学)</small></p>



リハビリテーション科紹介

リハビリテーション科 向井 英司

当院のリハビリテーション科は、理学療法士6名（非常勤2名）、作業療法士1名、助手1名で構成されており、急性期から回復期、在宅復帰支援、外来通院に至るまで継続してリハビリテーションを提供できる体制を整えています。診療対象は、運動器疾患、呼吸器疾患、脳血管疾患、小児科疾患と幅広く、最新の知識と技術、設備にて多様な患者様のリハビリテーションに対応しております。

理学療法部門で特に力を入れていることとして、運動機能障害に対する徒手療法（マニュアルセラピー）、作業療法部門では手の外科領域に対するハンドセラピーです。

マニュアルセラピーとは、主に骨・関節系疾患（機能不全）の治療を目的とした理学療法の一領域であります。筋肉・関節の痛みや、動きにくい原因を出来るだけ改善するために、系統立てた評価を基に患者様の問題に適した治療手技、運動療法を選択し、機能を維持・改善または障害を予防するものです。



マニュアルセラピー

またハンドセラピーとは、作業療法の一領域として位置づけられ、手の外科疾患に対し、早期から医師と連携し、専門的な知識・技術の下、損傷された手の機能の回復を目指すとともに「生活する（できる）手」として患者様の日常生活を考慮しながら訓練を行います。

また症状に応じて、患者様の身体に合った装具（スプリント）や自助具の作成を行っていきます。

現在のスタッフ数では、残念ながらすべての患者様のリハビリテーションに十分な頻度と時間を費やすことが出来ずにご迷惑をおかけしていましたが、本年4月より理学療法士3名、作業療法士1名を増員し、更に充実した体制を整えることになりました。今後も、一人ひとりのスタッフが確かな知識、技術を身につけ、1人でも多くの患者様がより良い状態で生活や職場に復帰出来ますよう努力していきたいと思います。



ハンドセラピー

キッコーマン総合病院カレンダー 2009年

1 January	2 February	3 March	4 April	5 May	6 June
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4	日 月 火 水 木 金 土 1 2	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6
4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24/25 26 27 28 29 30	7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4	日 月 火 水 木 金 土 1	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5
5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23/24 25 26 27 28 29	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

●臨時休診日 5月1日(金)、8月13日(木)、14日(金)、15日(土)、10月24日(土)、11月14日(土)

VOICE ひろば 声の宅急便

社内駅伝大会への参加

キッコーマン総合病院 整形外科部長 田中利和

た総合病院チームの2チームの参加となりました。各選手達のテニションは高く仕事の合間にても話題にされ、2ヶ月以上前から練習が始まっていました。医局チームは新人外科医2人の加入により入賞を、そして初参加の病院チームは最後まで櫻をつなぐことを目標に練習に熱が入りました。当日は午前8時に選手全員、監視員、各中継点へ選手を運ぶ配車係、そして応援団は医局に集合し、ストレッチをはじめとした準備運動を行い4台の車に分乗して会場へと向かいました。開会式の後、どの選手も緊張しながら櫻を受ける中継場所へ。自分のチームが走ってくるまでのたまらない緊張感により押しつぶされそうになりながら順番を待ちます。私も含め、みな自分の走りをし、医局チームは20チーム中9位、病院チームは目標通り完走しました。駅伝大会参加は走った選手たちの充実感はもちろんのこと、応援団、監視員など参加した仲間たちとその達成感は共有できました。この共感は職場のいい潤滑油になってくれるものと信じています。大会運営委員の方々、監視員の方、そして応援団の皆様にたいへんお世話をになりました。また、共感した人が増え来年も仲間が増えそうです。来年も走ろうと誓い合つて私たちの今年の駅伝大会は終わりました。



- p.1 メタボリックシンドロームと脂肪肝
 - p.2 **院長コラム**
 - p.3 **常勤医師紹介**
 - p.4 **診療担当表**
 - p.5 循環器・消化器病検査担当表
 - p.5 **新人の紹介**
 - p.5 **専門外来・特別診療**
 - p.6 **非常勤医師紹介**
 - p.7 **リハビリテーション科紹介**
 - p.7 **2009年カレンダー**
 - p.8 **ひろば:社内駅伝大会への参加**
 - p.8 **編集後記**

編集後記

今年初めてのメディカルニュースは如何でしたか？

お正月のご馳走やお酒でちょっと心配という方には秋本先生の「肝臓」のお話は興味深かつたのではないか。肝臓は食したものが身体の必要性に応じて、再合成あるいは分解・貯蔵・利用更に排泄という仕事をする臓器です。いわば流通倉庫を兼ねた加工工場。大切な肝臓には優しい生活とメディカルチェックが必要ですね。2月は冬から春への節目。

「鬼は外・副は内」といしながら1年の無病息災を願いたいです。

外來師長 青木康子

発行 キッコーマン総合病院広報委員会

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100

TEL.04-7123-5911(代表)

FAX.04-7123-

ホームページアドレス

<http://www.>

メールアドレス

●全科で予約診療を実施しています。

電話での予約受付時間は平日の午前10時より午後4時まで。

專用電話番号

04-7123-5932(代)

※休診等で変更になる場合がございます。ご了承ください。

受診の際は診察券を御忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ち下さい。